

オフィス英語【第2回】

助動詞 同僚との会話 II

講師 吉村 理津子

助動詞 (1/7)

《ビジネスで頻用する助動詞》

1) can/can't (cannot)/could/couldn't

スキルや能力を表す以外に下記の使い方もある:

- It can be true. (～の可能性がある)
- It cannot be true. (～であるわけがない)
- It could be true. (ひょっとしたら～かもしれない)
- I couldn't be happier. (～のはずがない:これ以上幸せであるはずがない
=最高に幸せだ)
- Can you lend me your pen? (＜カジュアルに＞～してくれる?)
- Could you lend me your pen? (＜丁寧に＞～して頂けませんか?) ...など

助動詞 (2/7)

(注)この助動詞を使って能力やスキルを表した場合は ”be able to～” と置き換えられる。
ただし、過去時制・肯定文で「～できた」と表現するときは以下に従う:

- ある行為を単回のみ行った: “be able to～” を使う

例) 昨日はその店で一番人気のパンを買うことができた

I was able to buy the most popular bread at the shop yesterday.

- ある行為を継続的にこなう能力があった: “could～” を使う

例) 若い頃は早く歩くことができた

I could walk fast when I was young.

*過去時制・否定文「～することができなかった」、「～する能力がなかった」の場合は “could～”、“be able to” のいずれを使ってもほぼ可

助動詞 (3/7)

2) will/won't/would/wouldn't

“will/won't” は、「～だろう／～ないだろう」、「～するつもりだ／～するつもりはない」、「(～は)ありがちだ／ありがちではない」等と解釈される。

“would/wouldn't” では、現在形と比較して曖昧さや丁寧さが加わっており、また、遠回しな言い方も可能である:

- It would be fine tomorrow. (will より晴れる確率が低いとき)
- Would you like coffee?
Would you mind opening the window?] (丁寧な意問いかけ)
- I would rather not answer it.
- That wouldn't be bad. (婉曲表現)
- Anyone would have done that. (could + have pp = 過去の推測) ...など

助動詞 (4/7)

3) may/may not/might/might not

may は「～してもよい(命令的許可)」や「～かもしれない」、may not は「～してはならない(強い禁止)」や「～し(で)ないかもしれない」等と解釈される

“might/might not” は “may/may not” よりも弱い推測を表すが、使い方はほぼ同じ

上記以外の使い方:

- He may/might have lost it. (may/might + have pp ～したかもしれない)
- You may/might well think so. (慣用句 ～するのもっともだ)
- You may/might as well do it at once. (慣用句 ～したほうがよい)

・・・など

助動詞 (5/7)

4) must/must not

must は「～しなくてはならない(義務)」、「～にちがいない」、must not は「～してはいけない(強い禁止)」と解釈される。また、mustは “have (has) to/～” に置き換えることができるが、“don’t have/doesn’t have to～” では「～する必要はない」となり、must notの意味とは異なってくる。なお、must には過去形がないため「～しなくてはならなかった」は、“had to～” とする。

- A worker must comply with the labor contract. (義務)
- Children must not be allowed to touch the device. (強い禁止)
- Must we wait for their arrival? (義務)

⇒この問いへの返答は “Yes, you must.” もしくは “No, you don’t have to.” となる。“No, you mustn’t” は「いいえ、待ってはいけません」となるため不適

- He must have misread it. (must + have pp ～したにちがいない)

助動詞 (6/7)

5) should/shouldn't

should は「～すべきである」、「～のはずである」、shouldn't は「～すべきではない」と解釈される。この助動詞には過去形がないため、下を示す通り should + have pp で表す。

- You should listen to your parents.
- They should be right.
- He shouldn't go out now.
- You should have met the client yesterday. (should + have pp ～すべきであった)
- They should have left the airport. (should + have pp ～してしまっているはずだ)

助動詞 (7/7)

6) その他の助動詞

a) used to～

「以前はよく～したものだ」、「以前は～をしていた」、「以前は～だった」等と解釈される。

- I used to work as a nurse.
- I used to be a nurse.
- I used to be good at playing tennis when young.

b) shall

肯定文には非日常的な表現が多いが、疑問文は頻用される：

- Shall I help you? * 返答は “Yes, please.”、“Thanks, but no thanks.” 等
- Shall we go? * 返答は “OK, let’s.”、“No, let’s not.” 等

同僚との会話Ⅱ

【同僚との会話Ⅱ】には、[通勤途中],[ランチ休憩]といった、仕事以外のシーンが2つ設定されています。業務時間とは異なり、外国人スタッフとリラックスして対話をエンジョイし、、、また、交流を深める絶好のチャンスです。積極的にコミュニケーションをとって下さい

シーン(5) “Non-working time”の対話 -出勤前- (1/2)

出勤前の通勤路で外国人の同僚と出会ったら、(日本人の同僚に対するときと同様)フレンドリーに会話を交わしましょう。これにより、職場での人間関係や雰囲気はますます円滑となることでしょう

Yoshiko: Hi, George. **How're you doing?**

George: Morning, Yoshiko. **I'm just fine, thanks. How about you?**

Yoshiko: I'm doing fine, but a little bit tired because my daughter has caught a bad cold last weekend. She's still in bed.

George: Oh, I'm sorry to hear that. I hope she'll get well soon.

Yoshiko: Thanks, George. And now, how was your weekend?

George: I spent the whole weekend just relaxing at home.

Yoshiko: That's good. Well, I'll **see you later.**

George: OK. **See you later.**

シーン(5) “Non-working time”の対話 -出勤前- (2/2)

- 同僚への朝の挨拶も、型どおりの表現にとどまらず、色々工夫してみましょう。

例えば、「お元気ですか」は “How’re you?” がよく使われますが、“How’s everything?”、How ‘re you doing?”、“How’s it going?” 等ともいいます。この問いに対する返答についても、“I’m fine, thank you.” だけでなく、“I’m doing fine”、“Very good, thank you.”、“Pretty well.”、“Not bad.” のようにそのときの気分で変えてみましょう。また、「あなたは？」と聞き返すときの表現も “And you?” 以外に “How about you?”、“What about you?” とも言ってみましょう。

- 自分のことを先に伝えた後は、礼儀として相手の体調や週末の過ごし方など聞いてあげましょう。
- 社内で何度も会う可能性がある人には、“See you later.”、同じ社内でも職場のフロアが異なるため会う機会が少ない人には、“See you soon.”、“See you around” 等の表現がよいでしょう。

シーン(6) “Non-working time”の対話 -ランチ休憩- (1/7)

ランチ休憩もまた同僚との交流を深める絶好の機会です。積極的に利用しましょう

<At the office>

Nancy: Yoshiko, do you have a lunch appointment?

Yoshiko: No. I was just thinking about **eating out**. May I join you?

Nancy: Great! **Why don't we** go to a new Italian restaurant just around the corner?

Yoshiko: That's nice, Nancy. I love Italian food. **Let's go**.

シーン(6) “Non-working time”の対話 -ランチ休憩- (2/7)

- “eat out” は「外食する」の意で、「屋外で食事する」(= “eat outside”) とは異なります。ちなみに、「社食」は “the company cafeteria” です。
- “Let’s ~”、“Why don’t we ~?” は、ともに動作の共有を促すときに用いられますが、使い分けが必要です。“Let’s ~” は、「さあ~するよ」と、半ばそうすることが既にきまっているかの状況でカジュアルに動作の共有を誘う言い方です。他方 “Why don’t we ~” は、「~しましょうか／~しませんか」と、比較的丁寧に動作の共有を相手に促す言い方で上司との対話にも使える便利な表現です。“Why don’t we ~?” の方は文末に疑問詞 “?” を忘れないようにしましょう。

注：「~すべきだ」、「~したほうがいい」等の表現として、“should” や “ought to” が知られていますが、“Why don’t we ~?” の “we” を “you” に代え、“Why don’t you ~?” とすることで相手の機嫌をそこねることなく動作の実行をすすめることができ、便利です。

シーン(6) “Non-working time”の対話 -ランチ休憩- (3/7)

<Sitting at a table in the restaurant>

レストランで席に着いた2人。すっかりこのレストランが気に入ったヨシコは、ナンシーをディナーに誘いました。

Yoshiko: Nice restaurant, isn't it?

Nancy: Yeah, their food is rather good, and the prices are reasonable. This is my third time being here. This opened only one month ago, though.

Yoshiko: Oh, is that right? Then, what about having dinner here sometime soon?

Nancy: OK, let's do that! I'm looking forward to it.

シーン(6) “Non-working time”の対話 -ランチ休憩- (4/7)

- “What about ~ing?” は、「じゃあ、今度そのお店で~しない？」のように、今の話題に関連付け、相手に行動の共有を促す場合に使います。”How about ~?”とも言いますが、こちらは、例えば友達と別の話をしながら歩いているとき、「ねえ、コーヒーでもどう？」と誘うときに使います。
- “I’m looking forward to ~” は、カジュアルに「~するのを楽しみにしているからね」と言う時の表現です。一方、「~するのを楽しみにいたしております」と丁寧に言うときは、“I look forward to ~”と言います。

シーン(6) “Non-working time”の対話 -ランチ休憩- (5/7)


<Toward the end of lunch time>

楽しいランチ・タイムはアッという間に過ぎ、そろそろオフィスに戻る時間となりました

Nancy: By the way, how's your work going, Yoshiko?

Yoshiko: I'm gradually **getting used to** my new job, thanks.

Nancy: Very good to hear that. You know, I'm really glad to have a friend like you, Yoshiko.



シーン(6) “Non-working time”の対話 -ランチ休憩- (6/7)



Yoshiko: Me too, Nancy!

Nancy: Wow, time flies when we're having fun. We must hurry back to work.

Yoshiko: Yeah, you're right, Nancy. Shall we get going?

シーン(6) “Non-working time”の対話 -ランチ休憩- (7/7)

■ 群動詞 “get used to～” は、「～に慣れる」というときにつかいます。類似表現に “be used to～” がありますが、こちらは「～に慣れている」と解釈します。

例えば次のように使い分けます：

- I want to get used to driving a car soon.
- She's already used to driving a car.

*前出の助動詞 “used to～” とは意味が異なりますので注意して下さい。

クイズ 本日の授業のポイント確認

● カッコ内に適語を入れて下さい

1) 「お昼は外食にしません?」「いいですよ、そうしましょう」

(①) (②) we eat (③) for lunch?

OK, (④).

①< > ②< > ③< > ④< >

2) 「また会えるのを楽しみにしているわ」

I'm (①) (②) to (③) you again.

①< > ②< > ③< >

3) 「かつては毎日のようにペットを連れてジョギングしていました」

I (①) (②) (③) with my pet almost every day.

①< > ②< > ③< >

クイズ 本日の授業のポイント確認

4) 「そこにある書類をとっていただけませんか」「いいですよ」

(①) you (②) passing me the document there?
(③).

①< > ②< > ③< >

2) 「今朝、会議にくるべきでしたね」

You (①) (②) attended the meeting this morning.

①< > ②< >

3) 「昨日彼女はやるべきことが多く、多忙だったに違いない」

She (①) (②) (③) busy with many things yesterday.

①< > ②< > ③< >

クイズ 本日の授業のポイント確認

助動詞／穴埋め問題

1. このファックス機の使い方を教えていただけないでしょうか

() you () telling me how to use this fax machine?

2. あなたのペンを使わせていただいてもかまいませんか

Would you mind () I use your pen?

3. 彼にそのことを伝えましょうか

() I tell him that?

または

() you () () to tell him that?

4. 明日までに書類を作らなくてはなりませんよ

You () create the document () tomorrow. または

You () () create the document by tomorrow.

クイズ 本日の授業のポイント確認

5. どうやら明日までに書類を作らなきゃならないようだ

You () create the document by tomorrow.

6. 若いころある程度のフランス語をはなせました(継続的能力)

I () () to speak some French when young.

または

I () speak some French when young.

7. 娘は大学に合格できました(単回のみ)

My daughter () () () () the entrance exam of the university.

8 身分証があればビル内に入れます

You () () the building if you have your ID card.

9. この領域での飲食は禁止です・

You () eat or drink in this area.

クイズ 本日の授業のポイント確認

10. 今は絶対にここを離れてはいけません

You ()() leave here now.

11. 今朝の朝礼に出るべきでしたね

You ()()() today's morning assembly.

12. 彼女は昨日は多忙だったに違いない

She ()()() busy yesterday.

13. 子供のころは名古屋に住んでいました

I ()() live in Nagoya when I was a little kid.

クイズ 本日の授業のポイント確認

●可能性を示す助動詞の使い方

<肯定文>

That () be true. (それ、絶対ホントだよ)

That () be true. (それ、ホントだろうね)

That () be true. (それはありうるね)

That () be true. (それ、ホントのはずだけど)

That () be true. または That () be true. (それ、ホントかもしれないね)

That () be true. (ひょっとしたら、その可能性あるね)

<否定文>

That () not be true. (それ、ホントであるはずがないよ)

That () not be true. (それ、多分ホントじゃないよ)

* 確信度は、一般に以下の左から強い→弱い・・・といわれていますが必ずしもこの定義があてはまるわけでもありません:

must > will > would > can > should > may / might > could